

ヤタブンタイムス

幼稚園&高校でジャガイモづくり

これまで「ゆりかご幼稚園」と「こまどり幼稚園」が行っていた野菜作りの行事に、昨年3月から当時の矢田分校の1年生がボランティアとして参加することになりました。

まずは、3月4日にジャガイモを植える作業が行われ、幼稚園児約250人、矢田分

校1年生52人が参加しました。また、この日は、秋に植えていた大根の収穫も一緒に手伝いました。

●「生徒の感想」
最初は園児と仲良くできなかったけど、仲良くなれてうれしかったです。でも、最近、大根が食卓に並ぶこと



園児と一緒にイモを育てて

国際貢献しました!

↑遠足で雑草を抜く園児と矢田分校の生徒。このときはまだ雑草も小さかった…。



—第36号—
発行 今治明德 矢田分校
編集 総務課 新聞部

雑草との戦い!

4月30日には、遠足の日に高2生と園児が畑の草引きをしました。その時の畑は、まだ平和でした。しかし、その1ヶ月後、気がつくジャガイモ畑は、完全な「雑草畑」



↑大根とったぞー!

が増えたので、そろそろしんどいです。6月にはジャガイモが食卓に並ぶ日を楽しみにしています。(越智貴士)

●一緒にイモを植えたり、大根を引っこ抜いたりした幼稚園児が天真爛漫で心が洗われるような感じがしました。大根は大根おろしにして焼き魚とともに食べました。おいしかったです。(本宮雄貴)



↑幼稚園児に植え方を教える。



矢田分校の「アフリカ村おこし企画部」というボランティアに寄付して、

収穫で国際貢献

そして、6月12日、いよいよジャガイモ収穫の日が来ました。今回も園児と高校生が一緒に作業です。イモは小さいのから大きいのまで意外にたくさんとれました。幼稚園で使う分を除いても、キャリアで5つつ分あり、後は矢田分校にまかされました。

そこでは、ボランティア委員が「ジャガバター」を作り、みんなで味見をしました。残りは、



↑収穫後、味見をする「隊員」たち。

になっただけで、そこで、急遽、雑草と戦う「ジャガイモ戦隊」を募集し、草引きに動きました。毎日のように、いろんな人がボランティアに参加してくれて、収穫日までは、地面が見えるようになりました。ありがとう!

ジャガイモ戦隊!!



↑園児とすっかり仲良しです。

「収穫後の感想」
草引きは、雑草がたくましく育ちすぎて2、3人がかりでやっと抜けるぐらいだった。そんな雑草の中でも大きく育つジャガイモの生命力はすごいと思った。その後のジャガバター作りもとても楽しかった。(寺尾紀子)

■自分たちで植えたイモはともおいしかった。途中、草引き戦隊の「ワインレッド」に変身したのも結構楽しかった。残りのイモはお金になつて、カンボジアの井戸を掘る



↑アフリカ村おこし企画部の皆さん。

募金に換えてもらいました。そのお金はカンボジアに井戸を掘る資金として使われることになりました。



↑3月に植えたジャガイモの収穫を終えた矢田分校の高校2年生。

ために使われるらしい。ただのイモが人を救うんだなって思った。(長井瑞穂)

■はじめて保育園児と会ってから、協力しながらイモを植え、草引きもみんなで頑張りました。そして立派なイモが育って自分たちで掘り出せたときは、とてもうれしかったです。掘り出したイモをお金に換えてカンボジアに送って活用してもらうことになり、人のためになることができ、私も良かったです。これからもいろんな人と交流して、人のためになりたいと思います。(藤本あすか)